

九十九里町老連との 麻雀交流会開催

7月21日、九十九里町中央公民館にて、麻雀交流会が実施された。大網より20名、九十九里町より20名の参加で盛大に行われた。大会は午前10時スタートで午後3時までに昼食を挟んで、半チャンを4回実施、合計の点数で順位を競った。結果は次の通りである。優勝は九十九里町の田崎 玲さんが106点で決まり、2位は大網の飯田美枝子さん103点、3位は大網の吉岡敏昭さん101点、以上のような結果となった。皆さんお疲れ様でした。 榎並谷将男(記)



市老連介護予防と健康寿命 研修会(ロコモ体操)開催

令和5年7月28日、大網白里市保健文化センター3階ホールにおいて健康運動指導士の岩沢妙子さんによるロコモ体操が実施された。いつも通り、ユーモアたっぷりのトークで体をほぐし、今回はタオルを使った運動で、いつも使わない筋肉を伸ばすなどを行った。健康寿命を少しでも長く維持していきたいと痛感した。 内山たか子(記)



大網白里市花火大会

令和5年7月29日、17:30から大網白里海水浴場において花火大会が開

催された。今年は千葉県創立150周年、大網白里市制10周年の節目に当たり、これらを記念して盛大に行われた。17:30から白里海岸中央本部テント前で開会式が行われ、最初に、なつまつり実行委員会内山信男実行委員会会長の挨拶に続き、金坂昌典市長と阿井伸也県会議員の挨拶があり花火大会がスタートした。来賓者は開会式の後、桟敷席に移動し、5000発もの盛大な花火を満喫した。夏まつり実行委員会として参加。 野添(記)



市老連PCサロン開催

広報誌「ほのぼの」の編集業務やホームページへの投稿などを誰でもできるようにすることを目的に、写

真撮影、転送、パソコンへの取り込み、データの整理方法などの業務や、Wordによる記事の作成、Lineグループや、市老連ホームページへの記事の投稿などを皆さんで練習しながら覚えてもらうために5月に3回、6月に1回、7月に3回、8月に2回実施してきた。各人が所有しているノートパソコンを持参していたが、1歩1歩前進しようとしているが、各人のPCアプリのインストール状況が違うことや、各人の技術レベルの違いもあり、条件を整える作業に手間取っている状況である。最近では広報誌よりも、当面必要な市老連理事会の為の次第の作成や理事会議事録作成を効率よく作成するための方法の説明と作成練習を行って、レベルアップを図っている。



※会報に関するお問い合わせ先
大網白里市老人福祉センター
「コスモス荘」電話(77)4466
大網白里市高齢者支援課
高齢者支援班 電話(70)0332

ほのぼの

第78号
発行所 大網白里市四天木乙 2894-57 老人福祉センター
発行者 大網白里市 老人クラブ連合会 電話 77-4466

令和5年度山武地区 老人クラブ連合会役員総会

令和5年6月21日、九十九里町中央公民館、第2会議室において山武地区6市町から各3名の役員が参加し総会が実施された。内容は次のとおりである。

- 一、開会宣言
- 二、物故者に対する黙祷
- 三、山田会長挨拶
- 四、議事・配布資料「令和5年度山武地区老連役員総会資料」による審議
- ① 令和4年度事業報告
- ② 令和4年度歳入・歳出決算報告 異議なし。
- ③ 令和5年度事業計画(案) 全員了承。
- ④ 令和5年度歳入・歳出予算(案)について：事務局が説明、予算案であるので問題ないが、少し数値に違うところ

があることが判明、事務局の方で修正し、後日配布することになった。

- ⑤ 各市町役員の紹介・挨拶、令和5年度市老連役員職員名簿に従い順に挨拶。
- 五、その他…なし
- 六、閉会



*午前中はちよつと早めに終了。午後からは事務担当者の打合せ実施。

市老連 ペタンク大会開催

令和5年5月25日、桂山ペタンク場において市老連ペタンク大会が開催された。参加チームは8組で争われた。上位3位までのチームは次の通りである。

優勝…山辺Bチーム
準優勝…季美の森Cチーム
3位…山辺Aチーム

今回の大会を開催するに当たり、事前に草刈りを実施した。参加された市老連の役員の方々にお礼を申し上げます。

野添俊平(記)



市老連第一回女性部全体会議

令和5年6月9日、9:00～12:00老人福祉センター教養娛樂室において今年度最初の女性部全体会議が開催された。参加人員は役員3名を含め13名が参加した。会議の内容は次のとおりである。

- 一、令和5年度女性部員名簿と連絡網の確認。
- 二、令和5年度女性部担当の事業の確認。
- 三、令和5年度市老連年間予定表の確認。
- 四、会議終了後、気功の体験会を実施した。11:20～12:00、講師は田中康夫さん、講師の指導についていけない方もいたようである。





市老連囲碁・将棋大会開催

令和5年7月14日、老人福祉センター「コスモス荘」において市老連の囲碁・将棋大会が開催された。参加選手は囲碁…5名、将棋…3名で、結果は次の通りであった。

(囲碁の部) (将棋の部)

優勝…田中康夫 優勝…渡部博
 2位…名和誠二 2位…阿部信行
 3位…加藤岡秀夫 3位…牧野孝幸

尚、囲碁、将棋の各上位2名の方々は8月30日に予定されている山武地区高齢者囲碁・将棋大会に出場の権利が与えられた。しかし将棋の部で優勝した渡部博さんは今年の全国大会に出場予定の為、地区大会には2位の阿部信行さん、3位の牧野孝幸さんが参加することになった。



市老連音楽の世界へ、と題して生演奏とお話と脳トレ開催

令和5年7月11日、大網白里市保健文化センターにおいて、市老連主催の「ようこそ 音楽の世界へ」と題した催しが行われた。参加者は48名であった。出演者はNHKの自慢のシンセサイザー奏者として活躍されている井出史子さんと大網小学校などで絵本の読み聞かせをされていたボランティアグループ「マザーグース」の皆様で、大型スクリーンを使った絵本の読み聞かせが主体であったが、楽器の生演奏、音楽に合わせて脳トレ運動も行われた。初めての試みで次は何が出てくるのだろうか」と期待感があり、非常に良かった。

県老連新任単老会長・若手会員研修会開催

令和5年7月18日、千葉市生涯学習センターにおいて2023年度新任会長・若手会員研修会が実施された。大網白里市老連からは新任単老会長として安岡律子会長、林延匡会長、若手会員として岩田秀夫組織副部長、随行者として阿部副会長、大村教養部長、北田教養副部長の合計6名が参加した。研修会では4つの事例が紹介された。

一、袖ヶ浦シニアクラブ連合会
 人口6000人の袖ヶ浦市のシニアクラブは令和4年度〜5年度に70名の会員獲得に成功した。新興住宅街で高齢者の多い地区での単位クラブの新規設立、既存単位クラブへの新規入会によるものであった。千葉県老人クラブ常務理事の研修会も寄与したとのことでした。

二、長南町しばはら熟年会の単位クラブ
 人口7300人、4300世帯、毎年200人が減少すると言う環境の中、16人のシニア会員の毎月の活動内容を重点地区の所帯に回覧でPRし、加入促進を図っている。

それぞれ特徴を持った活動で、成果を出している。認知症、要介護者の増加、特殊詐欺など高齢者を取り巻く様々な問題を未然に防ぐためにも信頼できる仲間や社会とのつながりが必要であり、私たちの仕事が必要を支えていることを肝に銘じて日々の仕事に励みたい。

季美の森先人會會長 林 延匡



三、松戸市はつらつクラブ連合会
 高齢化が進む地区で、シニアクラブ単独で電動カートを提供し、せ住民に足の便を提供した。

四、八千代市緑が丘長寿会
 20年前87名の会員からスタートして現在255名の会に成長、女性の割合が6割。サロン活動が活発。



第57回なのはなシニア千葉 特選演芸会開催

令和5年6月11日、13:30からサンライズ九十九里において県老連と市老連の共催による特選演芸会が開催された。参加者は昨年と同じく130名ほどであった。

今回は原田直之さんの民謡ショーを中心とし、毎年決まって行われる「なのはなシニア音頭」の歌に合わせて皆様は踊って戴く催しを、今年も原田直之さんの唄に合わせて10人以上が踊った。中には白里郷土芸能保存会のメンバーが3人位、ハッピーを着て踊ってくれた。楽しいひと時だった。



市老連グラウンド・ゴルフ大会

令和5年6月21日、市運動広場において市老連グラウンド・ゴルフ大会が実施された。参加人員は62名であった。今大会で上位6名の方々は商品が授与された。結果は次の通りである。

優勝…季美の森先人會 遠藤様
 準優勝…上谷新田卯月會 外処様
 3位…個人會員 加藤様
 4位…上谷新田卯月會 竹内様
 5位…個人會員 古山様
 6位…弥幾野先人會 井出様

・ホールインワン賞…23名受賞

*今回の大会で上位30名の方々には9月14日に実施予定の山武地区高齢者グラウンド・ゴルフ大会の出場権が与えられた。



市老連ゲートボール大会開催

6月23日、9:00から大網地区農村公園のゲートボール場において実施された。参加チームは3チーム（Aチーム、Bチーム、Cチーム）であった。今年は山武地区大会が中止になった。上位の1チームが県大会に出場する権利が与えられた。競技の結果はBチームが優勝、Aチーム、Cチームが同点でも2位となり、賞品が授与された。



市老連食と生活研修会①

令和5年6月29日、大網白里市中央公民館調理室において食と生活研修会①が開催された。今回はポリ袋ッキングと題して、「コープみらい」から3名の講師（田中さん、安井さん、戸塚さん）をお迎えし実施された。参加人員は24名であった。日常食を災害時などに非常食として利用できることを体験した。調理の内容は①ごはん、②肉じゃが、③おやつ（プリン）、④切り干し大根とツナの和え物、味も上々で、ポリ袋は便利なものだと、参加者全員が痛感したようである。